



2025年3月期（第49期） 第3四半期決算補足説明資料 (Third quarter of FY2025 | 49th business year)

2025年2月14日
株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

- 1 第3四半期 決算サマリー P. 3～
- 2 セグメント別概況 P. 5～
- 3 財務状況等 P. 9～
- 4 業績・配当予想－2025年3月期（第49期）－ P. 11

< 増収増益 >

- ・収益性を重視した案件が増加
- ・前期不採算案件の反動増に加え、価格転嫁・業務効率化が奏功

(単位：百万円)

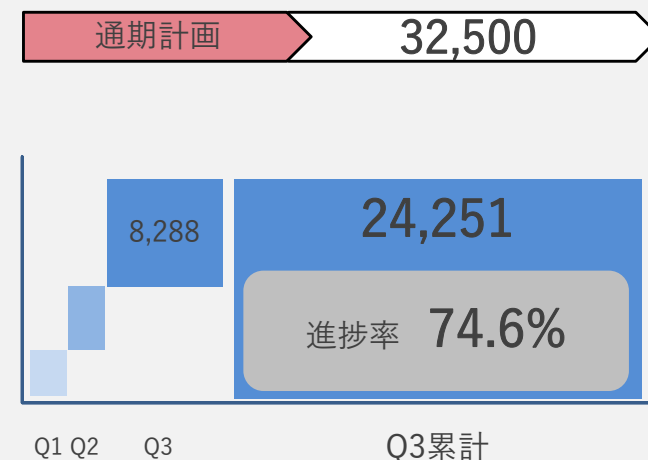
	第3四半期			
	2024年3月期	2025年3月期	増減額	増減率
売上高	23,026	24,251	1,224	5.3%
営業利益	1,220	1,562	342	28.1%
経常利益	1,212	1,579	366	30.2%
四半期純利益	824	1,075	251	30.6%

売上高・各利益共に概ね計画通り 過去最高の売上高・利益を見込む

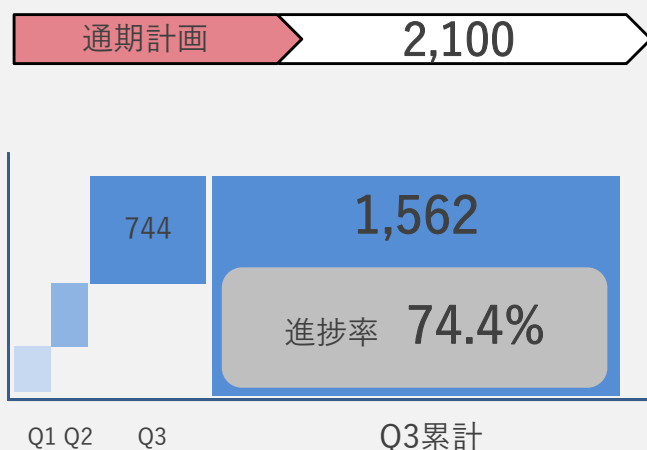
- ・各セグメントの事業戦略と利益率向上策は順調
- ・足元の事業環境は良好
- ・プロジェクト進行も概ね順調

(単位：百万円)

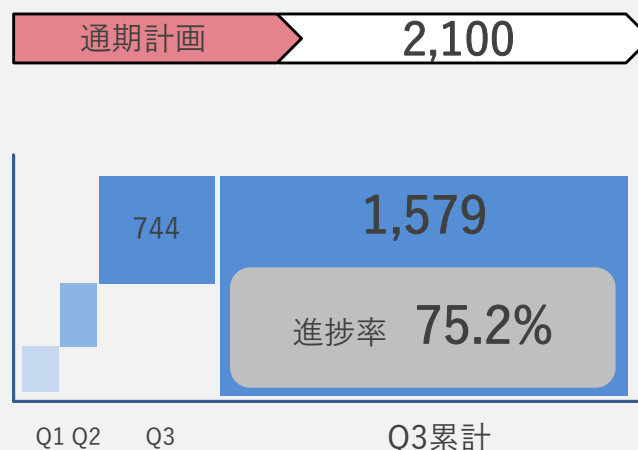
売上高



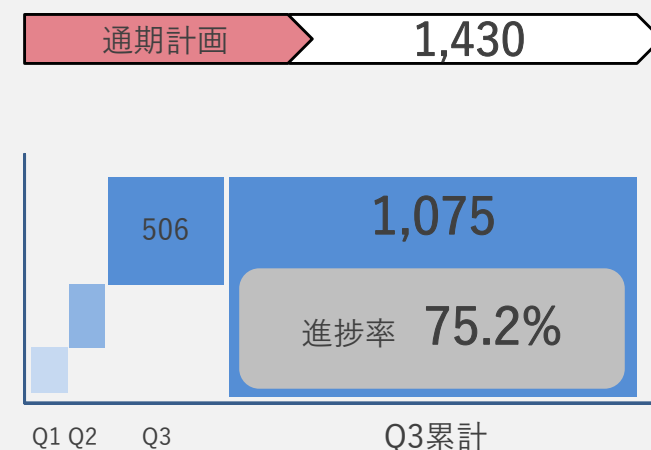
営業利益



経常利益



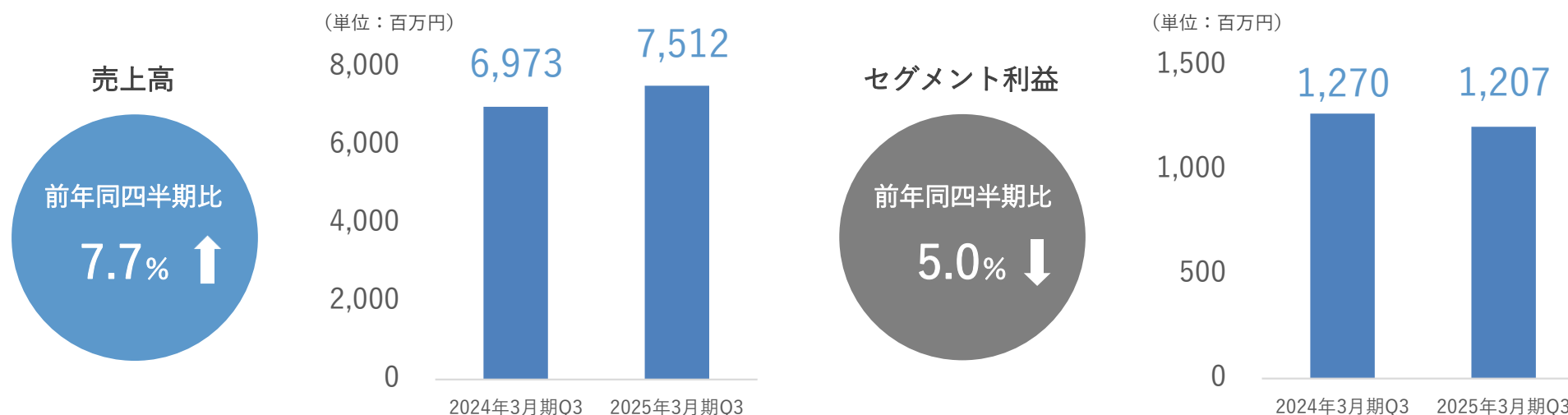
四半期純利益



公共関連

主に官公庁及び地方自治体を最終ユーザーとする社会インフラ基盤に係るシステムの設計・製造、システム稼動後の運用・保守

公共関連事業全体で受注増加の傾向続く
一部開発案件の進捗遅れの影響が残り、増収減益

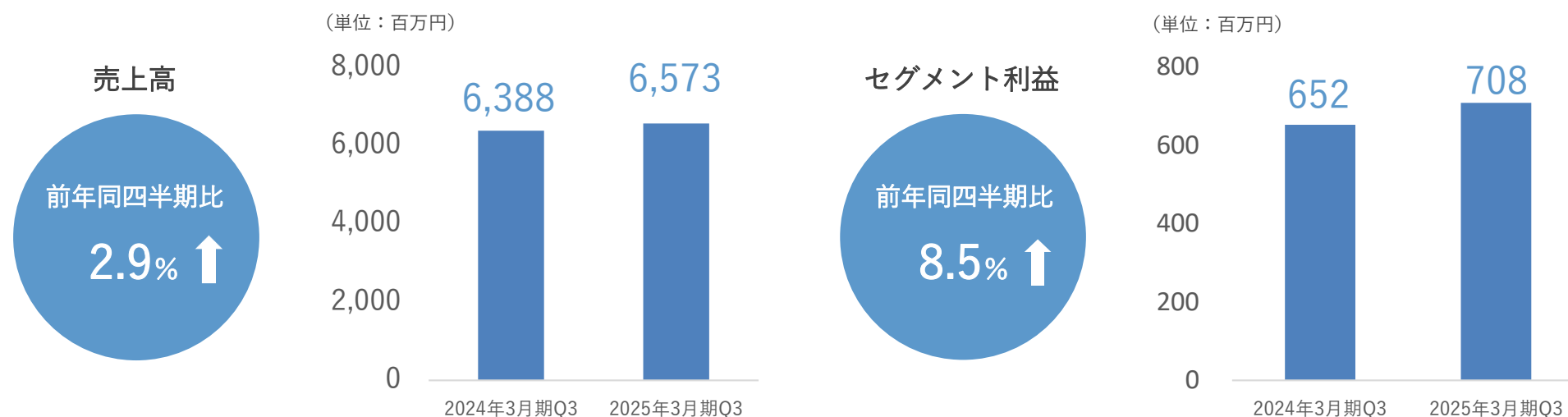


- 社会保障、医療、eLTAX等は安定成長。更にマイナンバー関連が増収に貢献。
- 進捗遅れの案件は当第3四半期で完了。その他法人案件は堅調に推移。

エンタープライズ

主に法人企業の基幹業務システム・Webシステムの開発、ネットワーク・インフラの設計・構築、RPAソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

インフラ関連・デジタル化の好調により増益に転じる

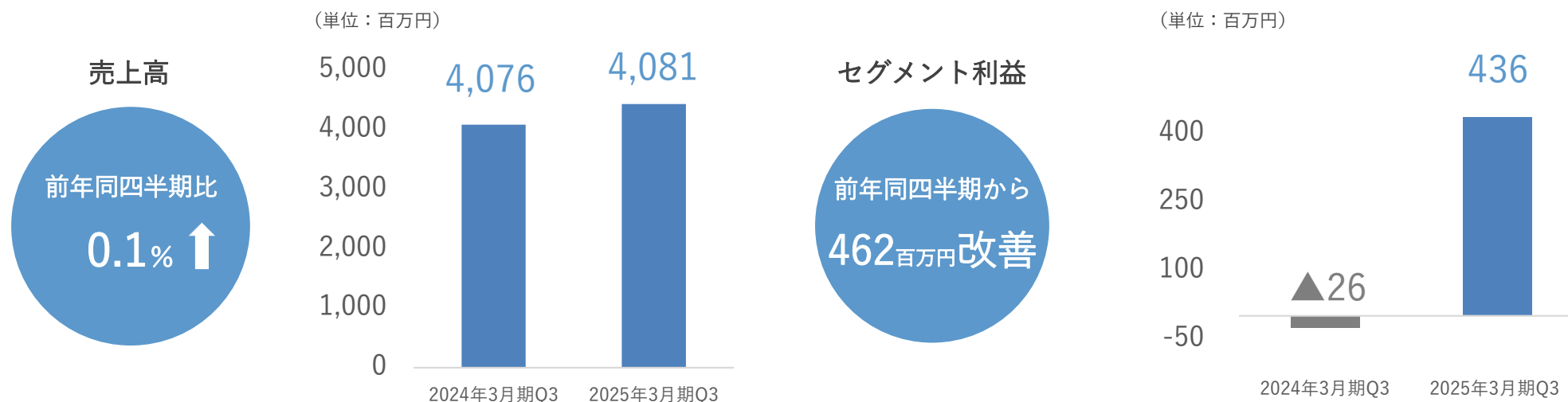


- インフラ・セキュリティ・ERP関連が高需要を取込み、利益の伸長に貢献。
- 独立行政法人や地方自治体等のデジタル化案件も増加し、成長を牽引。

広域ソリューション

主に東京・名古屋・大阪地域における、通信制御システム開発、組込みシステム開発、民間企業・行政機関向けシステム開発、AIソリューション、付随する運用・保守、ICTに係るコンサルティング

前期不採算案件による利益反動増と、高収益案件の増加で増収増益

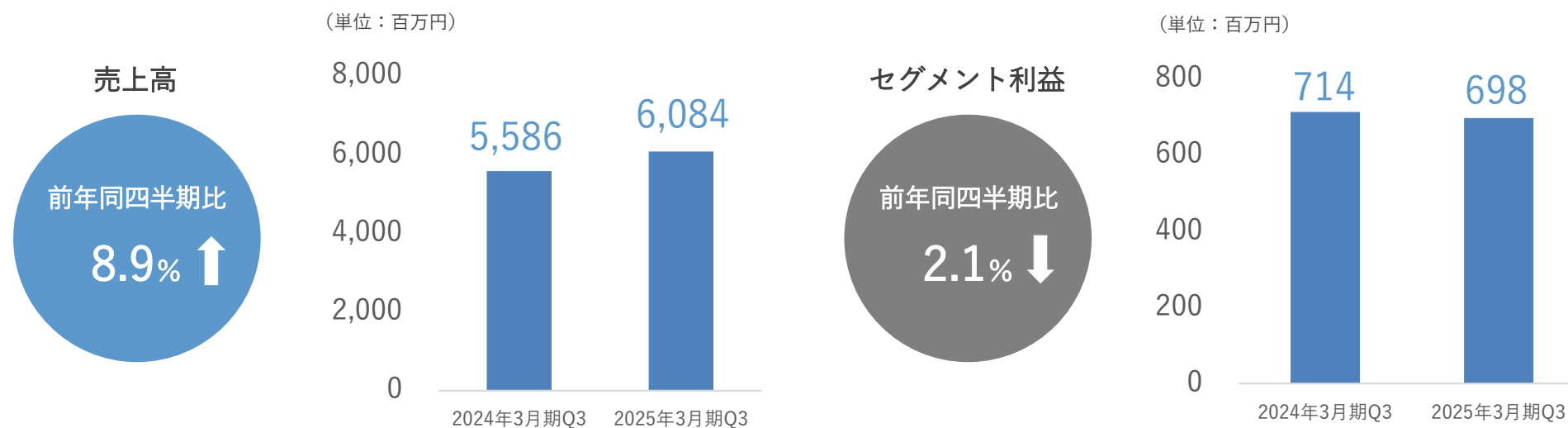


- 着実なプロジェクト進行で利益を確保。
- 通信関連が微減、組込み関連が横ばいも、その他既存案件が堅調に推移。

イノベーション

主にインフラ基盤設計・構築、メインフレーム構築、システム開発、付随する運用・保守、自社製品の製造、IoTソリューションの提供

インフラ関連が成長を牽引し増収も、前期高収益案件の反動による減益が続く



- 新規・既存共にインフラ設計・構築の案件が好調を継続し、増収。
- 自社製品関連は開発・品質向上を進めるなか、引続き横ばいで推移。引き合いは増加。

(単位：百万円)

	前事業年度	当第3四半期会計期間
(資産の部)		
流動資産	13,089	12,750
固定資産	7,900	7,606
有形固定資産	3,548	3,502
無形固定資産	120	81
投資その他の資産	4,232	4,022
資産合計	20,989	20,357
(負債の部)		
流動負債	6,150	5,392
固定負債	1,422	1,205
負債合計	7,572	6,597
(純資産の部)		
株主資本	11,744	12,259
資本金	2,905	2,905
資本剰余金	2,177	2,188
利益剰余金	7,003	7,505
自己株式	△342	△339
評価・換算差額等	1,672	1,499
純資産合計	13,416	13,759
負債純資産合計	20,989	20,357

前事業年度末と比較し631百万円減少

(主な増加理由)

・現金及び預金の増加 914百万円

(主な減少理由)

・売掛金及び契約資産の減少 1,108百万円
 ・投資有価証券の減少 246百万円
 ・前払費用の減少 123百万円

前事業年度末と比較し974百万円減少

(主な増加理由)

・預り金の増加 183百万円

(主な減少理由)

・賞与引当金の減少 333百万円
 ・未払法人税等の減少 316百万円
 ・買掛金の減少 264百万円
 ・契約負債の減少 175百万円

前事業年度末と比較し343百万円増加

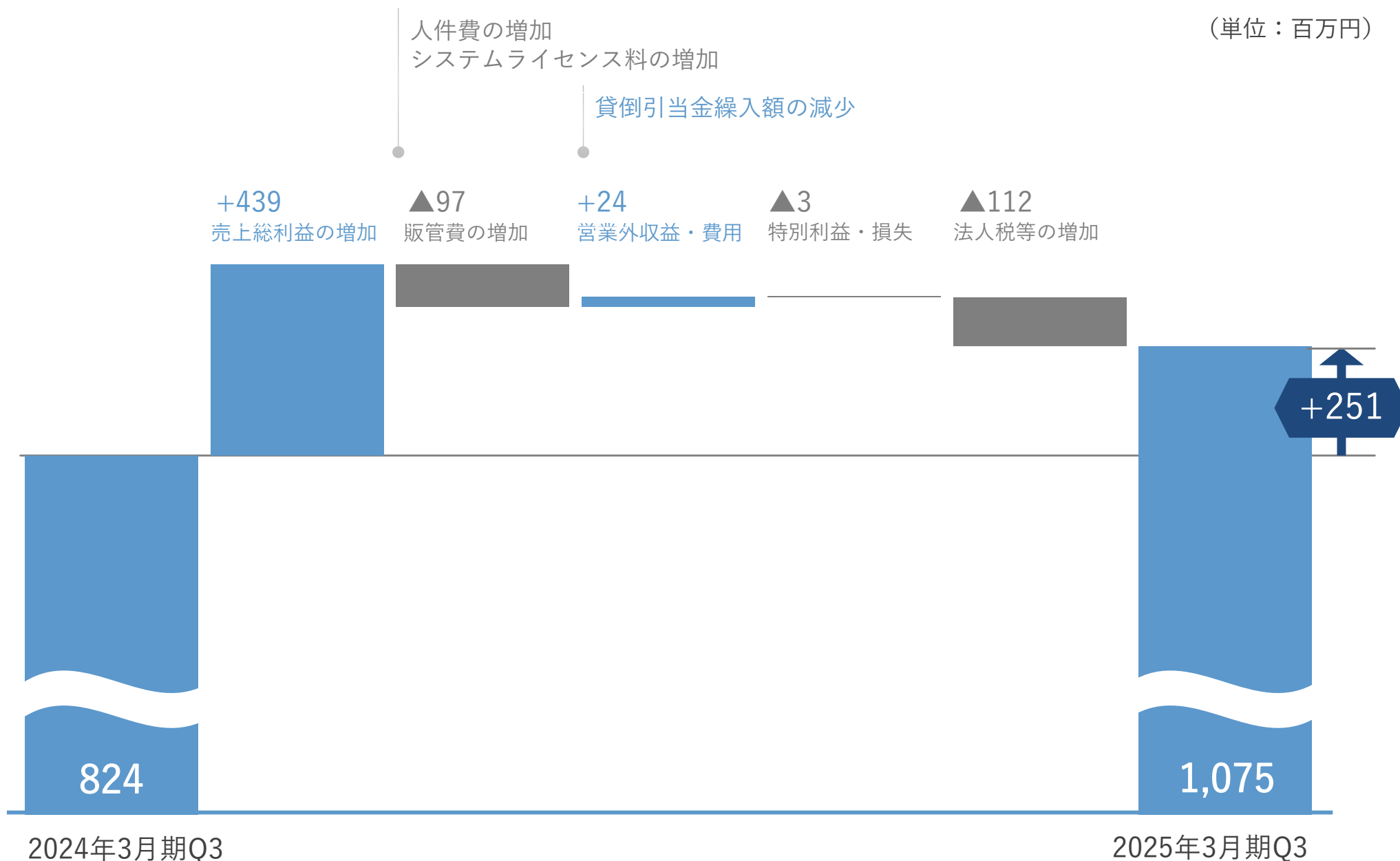
(主な増加理由)

・利益剰余金の増加 501百万円

(主な減少理由)

・その他有価証券評価差額金の減少 172百万円

(単位：百万円)



Ⅰ業績予想は維持

Ⅰ1株当たりの年間配当金は38.00円（中間配当6.00円＋期末配当32.00円）

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減率
売上高 (百万円)	31,509	32,500	3.1%
営業利益 (百万円)	1,974	2,100	6.4%
経常利益 (百万円)	1,971	2,100	6.5%
当期純利益 (百万円)	1,406	1,430	1.7%

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
1株当たり当期純利益 (円)	93.13	94.59
1株当たり配当金 (円)	<div> <div>38.00</div> <div> (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00 </div> </div>	<div> <div>38.00</div> <div> (内訳) 中間配当 6.00 期末配当 32.00 </div> </div>
配当性向 (%)	40.8	40.2

今後とも、ご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



テクノロジーに、ハートを込めて。

本資料において、値は小数点以下切捨、割合は小数点第二位で四捨五入しています。本資料は2025年2月14日現在で入手可能な情報、未だ生じていない仮定等を基に作成しております。従いまして、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、表示内容の確実性について、当社が保証するものではありません。